

令和 5 年度 高 齢 者 保 健 福 祉 計 画 実 績 報 告

段階	進捗状況
A	80%～100%
B	60%～80%未満
C	40%～60%未満
D	20%～40%未満
E	0%～20%未満

基 本 方 針		第1節 健康づくりと介護予防の充実(健康寿命の延伸)							
施 策		1 健康増進事業の充実							
施 策 目 標		担当課等	令和5年度					R4	R3
			区分	評価	予算額 (千円)	執行額 (千円)	実 施 内 容	評価	評価
(1)健康教育	①要介護状態を招く骨粗しょう症や生活習慣病等について、積極的に健康教育を実施し、健康寿命の延伸を目指す。 ②60歳以上の方については、ふるさと元気村において筋力向上トレーニングを実施し、健康増進に努める。 ③理学療法士、健康運動指導士等の協力を得て、専門的指導内容の充実を図る。 ④住民主体の通いの場などの多様な介護予防活動の充実を図る。	健康支援課 (保健センター)	継続	A	753	741	健康マイレージ事業。ウオーキング教室(対象:健康マイレージ参加者)19人 生活習慣病料理教室 参加者:骨粗しょう症予防 12人・高血圧予防 13人 食事バランス教室 参加者:高血圧 13人 コレステロール 8人 高血糖 15人	A	A
		社会福祉協議会	継続	A	2,996	2,993	ふるさと元気村 事前講習会参加者 59人 延べ利用者数 7,329人 高齢者の運動機能の維持向上及び運動定着化を図った。	A	A
		高齢介護課	継続	A	1,600	370	地域において活動する団体へ理学療法士等の専門職を派遣することにより、住民主体による介護予防活動の充実を図った。令和5年度は13団体に計50回派遣。	A	A
(2)健康相談	①重点健康相談については、個人の食生活、運動その他の習慣を勘案が行う必要があり、住民からの相談に対応する。 ②総合健康相談については、多様な相談のニーズに応じられるよう保健師、管理栄養士が対応する。 ③精神保健相談については、保健師等が対応し、必要に応じて保健所や関係機関と連携し、適切な専門機関につなげる。	健康支援課 (保健センター)	継続	A	153	153	随時実施(再掲) 総合健康相談(電話相談含む)栄養相談 14人 延人数 36人 重点健康相談 延人数 7人 精神保健健康相談(電話相談含む) 延人数 24人	A	A
(3)各種健康診査	①がん検診については実施方法や精度管理の見直し等、効果的な実施に努め、若年層への受診勧奨・周知・啓発を図る。 ②骨粗しょう症検診については、若い世代の受診者の拡大、検診から保健指導・予防教室までの一連の事業において、住民の意識を高める事業展開に努める。 ③特定健康診査とがん検診を同時に実施し、住民の利便性に配慮する。 ④特定保健指導対象者に、保健師・管理栄養士による健康相談・栄養相談だけではなく、より効果的な保健指導を展開する。	町民課	継続	B	33,391	28,239	特定健康診査 令和5年度 対象者数:6,626人 受診者数:2,584人 受診率:39.0% (令和6年4月26日現在。確定数値は、令和6年9月予定) 令和4年度 対象者数:6,998人 受診者数:2,649人 受診率:37.9%(法定報告数値) 令和3年度 対象者数:7,499人 受診者数:2,845人 受診率:37.9%(法定報告数値)	B	B
		健康支援課 (保健センター)	継続	A	32,416	28,270	<健康増進法による健康診査>生活保護受給者を対象に特定健診及び後期高齢者医療健診に準じた内容で実施。受診者2人。 <骨粗しょう症検診> 403人 <がん検診受診率>胃がん8.0% 肺がん11.9% 大腸がん14.8% 乳がん15.9% 子宮頸がん18.1% その他前立腺がん 936人 <特定保健指導>実人数 82人	A	A

令和 5 年度 高 齢 者 保 健 福 祉 計 画 実 績 報 告

段階	進捗状況
A	80%～100%
B	60%～80%未満
C	40%～60%未満
D	20%～40%未満
E	0%～20%未満

施 策		2 地 域 支 援 事 業 の 総 合 的 な 推 進								
施 策 目 標		担当課等	令和5年度					R4	R3	
			区分	評価	予算額 (千円)	執行額 (千円)	実 施 内 容	評価	評価	
(1)介護予防・生活支援サービス事業の充実										
①訪問型サービス	要支援者等に対し掃除、洗濯などの日常生活上の支援を提供するサービスで、地域の実情に応じたサービス内容や提供体制の整備に努める。	高齢介護課	継続	B	-	-	第1号訪問事業及びサービスA(緩和した基準によるサービス)の事業所指定は実施済みだが、サービスB(住民主体による支援)、サービスC(短期集中予防サービス)及びサービスD(移動支援)は未実施となっている。	B	B	
②通所型サービス	要支援者等に対し、機能訓練や集いの場など日常生活上の支援を提供するサービスで、地域の実情に応じたサービス内容や提供体制の整備に努める。	高齢介護課	継続	B	-	-	第1号通所事業及びサービスA(緩和した基準によるサービス)の事業所指定は実施済みだが、サービスB(住民主体による支援)及びサービスC(短期集中予防サービス)は未実施となっている。	B	B	
③その他の生活支援サービス	住民ボランティア等の担い手を養成しながら、移動支援、買い物及びゴミ出し支援等、住民主体の支援の取り組みを推進する。	高齢介護課	継続	A	318	176	生活支援員養成講習を2日間行い、12人の担い手を養成した。 生活支援員によるゴミ出し支援や、西地区や泉地区において地域支え合い活動の取組が行われた。	A	A	
④介護予防支援事業(ケアマネジメント)	地域包括支援センターが要支援者等に対するアセスメントを行い、本人が自立した生活を送ることができるようケアプランを作成し、援助を行う。	高齢介護課	継続	A	4,531	4,263	要支援・事業対象者で、サービスを必要とする方に対し、本人が住み慣れた場所で自立した生活を送るために、適切なサービスを利用できるように支援を行った。 (3包括委託を含め、相談合計 延べ3,993件)	A	A	
(2)一般介護予防事業の充実										
①介護予防把握事業	地域の実情に応じて収取した情報を活用することで、生活機能の低下等により、要介護・要支援状態になるおそれのある高齢者を早期発見するとともに、介護予防活動へつなげる。	高齢介護課	継続	A	—	—	基本チェックリストを行うことにより、本人の状態について調査。本人の希望や必要に応じて介護保険の申請につなげている。	A	A	
②介護予防普及啓発事業	介護予防に関する基本的な知識を普及啓発する。	高齢介護課	継続	A	—	—	各地区でのシニアサロン、老人クラブ等、高齢者が多く集まる機会を利用して、介護予防に関する情報の提供に努めた。	A	A	
③地域介護予防活動支援事業	介護予防に資する地域活動・組織の育成・支援や、介護予防サポーター養成講座等、ボランティア人材の育成に努める。	高齢介護課	継続	A	546	539	介護予防に向けた取組を自発的に行えるよう、地域で活躍するサポーターの養成を行っている。令和5年度については、新型コロナの感染拡大防止に努めながら、サポーターの養成講座を実施した。	A	A	
④一般介護予防事業評価事業	参加状況や活動状況などを分析・評価し、より効果的な施策展開につなげる。	高齢介護課	継続	A	—	—	一般介護予防事業の参加状況や実施後のアンケート調査、実施プロセス、人材・組織の活動状況などを毎年分析・評価し、より効果的な施策展開に努めた。	A	A	
⑤地域リハビリテーション活動支援事業	介護予防をするための取り組み強化や重度化防止のため、介護予防に関する専門的・技術的な助言の機会をつくる。	高齢介護課	継続	A	500	370	地域において活動する団体へ理学療法士等の専門職を派遣することにより、住民主体による介護予防活動の充実を図った。令和5年度は13団体に計50回派遣。	A	A	

令和 5 年度 高 齢 者 保 健 福 祉 計 画 実 績 報 告

段階	進捗状況
A	80%～100%
B	60%～80%未満
C	40%～60%未満
D	20%～40%未満
E	0%～20%未満

基 本 方 針		第2節 在宅生活支援の充実							
施 策		1 生活支援等の充実							
施 策 目 標		担当課等	令和5年度					R4	R3
			区分	評価	予算額 (千円)	執行額 (千円)	実 施 内 容	評価	評価
(1)生活援助事業	サービスの担い手である協力会員の育成を行うとともに、商工会との連携を図り、まごころとどけ隊の充実に努める。	社会福祉協議会	継続	B	595	256	感染症対策を講じながら、活動を継続することができた。新規利用者2名を受け入れ、年度内に2名とも援助終了した。	B	B
(2)家事援助サービス	会員の募集とサービス内容の周知を図り、サービスの充実に努める。	高齢介護課	継続	A	-	-	訪問型サービスA(緩和した基準によるサービス)の担い手養成を行うため、生活支援員養成講座を実施した。 受講した一部のシルバー人材センター会員等が、シルバー人材センターが行う家事援助サービス(掃除・洗濯・買い物)を46件行った。	A	A
(3)高齢者の移送サービス	①巡回バスの運行 利用者ニーズを把握し、利便性の向上に努める。 ②買い物支援モデル事業 地域住民の方が中心となり、地域づくりや支え合い活動を推進していくため、先進事例や地域で実現可能な移送サービスの検討を行う。 ③リフト付き車両の貸し出し 制度の普及と利用促進に努める。	住民協働課	継続	A	40,000	35,533	令和2年度より巡回バスの運行を見直し、公共施設等への利用促進及び日常生活の交通手段の選択肢の一つになることを目的に、町内巡回バスを運行した。(利用者:21,269人 前年比:2,568人)	A	A
		高齢介護課	継続	A	-	-	顔見知りの関係性ができているげんきSUGI体操活動団体の6団体に出向き、助け合い活動についての座談会を行い、各地域ごとの課題とできる活動の検討を行った。	A	A
		社会福祉協議会	継続	A	780	659	車いす使用者(歩行困難者含む)にリフト付き車両の貸し出しを行なった。 利用者数:28人 貸出し件数:107件 令和5年度は、貸出車両が2台になり利便性が向上した。通院や買物など利用者が増えてきた。	A	A
(4)交通機関の整備・改善	①鉄道やバス輸送の利用しやすい環境づくりについて、必要に応じて関係機関等に対する要望活動を行う。 ②多くの方々に利用していただくための公共交通を目指し、検討を進める。	総合政策課	継続	A	921	928	杉戸高野台駅ホームの風雨や暑さ(寒さ)をしのげる場所として待合室を設置することや駅の安全性向上について、埼玉県及び東武鉄道(株)に対し要望活動を実施した。また、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出の自粛による、利用者の減少に加え、近時の原油価格高騰により燃料費等が負担増となっている公共交通機関を支援するため、バス事業者及びタクシー事業者への支援金を交付し、地域の移動手段を確保した。	A	A
		住民協働課	継続	A	40,000	35,533	令和2年度より巡回バスの運行を見直し、公共施設等への利用促進及び日常生活の交通手段の選択肢の一つになることを目的に、町内巡回バスを運行した。(利用者:21,269人 前年比:2,568人)	A	A
(5)配食サービス事業	調理及び食の確保が困難な人に対して、給食サービスの充実に努める。	高齢介護課	継続	A	2,746	2,746	栄養改善と安否確認を目的に、月曜から金曜(週5日以内)で、配食のふれ愛及び宅配クック123に委託して実施した。 年間配食数:8,814食	A	A
(6)ふれあい事業	地域の民生委員や関係機関との連携を図り、ふれあい事業の充実に努める。	社会福祉協議会	継続	A	313	164	一人暮らし高齢者・ねたきり高齢者・認知症高齢者を対象に民生委員が2月と8月の年2回訪問を行っている。	A	A
(7)緊急通報システム整備事業	制度の普及と利用促進に努める。	高齢介護課	継続	A	5,845	5,437	ボタンを押すだけで緊急通報センターに通報が行き、救急車が出動する装置を貸与した。 設置台数:224台	A	A

令和 5 年度 高 齢 者 保 健 福 祉 計 画 実 績 報 告

段階	進捗状況
A	80%～100%
B	60%～80%未満
C	40%～60%未満
D	20%～40%未満
E	0%～20%未満

施 策		2 家族介護支援の充実							
施 策 目 標		担当課等	令和5年度					R4	R3
			区分	評価	予算額 (千円)	執行額 (千円)	実 施 内 容	評価	評価
(1)日常生活用具給付・貸与事業	ひとり暮らし高齢者等に必要とされている種目を検討し、サービスが必要な方への支給に努める。	高齢介護課	継続	A	10	3	サービスが必要な方へ、日常生活用具の給付・貸与の支給に努めた。 家庭用簡易消火器 1件	A	A
(2)訪問理容事業	関係機関との連携を密にし、制度の普及と利用促進に努める。	社会福祉協議会	継続	B	61	34	外出が困難な高齢者等に訪問による理容サービスを実施した。 利用券発行者:8人 利用回数:10件	A	B
(3)紙おむつ等支給事業	在宅介護の負担軽減のため、制度の周知と利用促進に努める。	高齢介護課	継続	A	11,519	10,367	在宅介護の負担軽減のため、221名に紙おむつの支給を行った。	A	A
(4)介護マークの普及促進	制度を周知し、必要な方への交付に努める。	高齢介護課	継続	A	—	—	高齢介護課窓口にて周知し、令和5年度の発行枚数は1枚あった。	B	A
施 策		3 地域ケア会議と適切なケアマネジメントの推進							
(1)地域ケア会議の実施	高齢者の自立支援に資するケアマネジメントを進める観点から、高齢者の解決すべき課題や目標を明確にするアセスメントを重視し、そのために必要な専門的視点を有する多職種や関係機関の協力、助言が得られるよう体制を整える。	高齢介護課	継続	A	560	340	個別事例の検討を中心とした自立支援型の地域ケア会議を実施。 令和5年度は、集合型とZoomを併用した会議を7回開催した。	A	A
(2)適切なケアマネジメントの推進	ケアマネジメントの質の向上のため、ケアマネージャーに対する支援と、連絡会等への支援、多職種・他機関との連携などにより、体制の充実を図る。	高齢介護課	継続	A	—	—	ケアマネージャーから相談等があった場合に適宜対応した。	A	A
施 策		4 相 談 支 援 ・ 情 報 提 供 の 充 実							
(1)地域包括支援センターの総合相談支援業務	①地域住民や関係機関からの相談に応じ、適切な関係機関等につなぐ。 ②地域住民の身近なところでの相談しやすい環境作りに努める。	高齢介護課	継続	A	—	—	地域住民の身近なところで相談できるよう、役場と良宝園、JMAの3か所に対応。また、地域住民や関係機関からの相談にセンターで対応するとともに、施設や医療機関等、適切な関係機関等につないだ。 総合相談件数:3包括計 5,396件	A	A

令和 5 年度 高 齢 者 保 健 福 祉 計 画 実 績 報 告

段階	進捗状況
A	80%～100%
B	60%～80%未満
C	40%～60%未満
D	20%～40%未満
E	0%～20%未満

施 策		5 在 宅 医 療 ・ 介 護 連 携 の 推 進							
施 策 目 標		担当課等	令和5年度					R4	R3
			区分	評価	予算額 (千円)	執行額 (千円)	実 施 内 容	評価	評価
①地域の医療・介護の資源の把握	杉戸・幸手地域の介護事業所のリスト等を作成し、関係者間の連携等に活用する。	高齢介護課	継続	A	3	0	(1)地域の医療介護資源把握等のため、アンケート調査を行った。 (2)地域の情報を合わせた医療・介護マップを更新し、ホームページで情報公開した。	A	A
②在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	地域の医療・介護関係者等が参画する会議を開催して、在宅医療・介護連携の現状を把握し、課題の抽出や対応策等の協議を多職種で行う。	高齢介護課	継続	A	440	352	(1)在宅医療・介護連携推進研究会(ケアカフェ)を3回開催し、124人が参加した。 ①実施日:令和5年7月25日、参加数:47人 ②実施日:令和5年9月29日、参加数:40人 ③実施日:令和5年11月28日、参加数:37人 (2)地域包括ケア会議を毎月第4木曜日を目安に定例で開催し、日頃、抱えている問題事例の報告及び意見交換を行った。9回実施し、103人が参加した。	A	A
③切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築促進	在宅医療・介護サービスが切れ目なく一体的に提供される体制の構築を推進する。また、在宅医療や在宅介護が一体的に提供される仕組みづくりを北葛北部医師会及び幸手市と協議しながら実施する。	高齢介護課	継続	A	130	45	(1)杉戸町と幸手市の連携が必要な事項について、実情に応じた内容検討を行う会議を開催し、多職種のメンバーで意見交換を行った。 開催日:令和5年6月22日、令和5年12月22日 (2)在宅医療カンファ(事例検討)の実施	A	A
④医療・介護関係者の情報共有の支援	「ICTによる医療・介護ネットワークの構築」により情報共有ツールの整備に努める。 メディカルケアステーションの普及に向けて、具体的な周知と導入について説明を行う。	高齢介護課	継続	A	13	0	(1)杉戸町・幸手市におけるメディカルケアステーションの普及のキャラバン活動 (2)災害・救急時における医療と介護および地域との連携 協働型災害訓練:令和6年2月9日	A	A
⑤在宅医療・介護連携に関する相談支援	在宅医療や介護サービスに関する相談の受付を行う。また、退院の際の地域の医療関係者と介護関係者の連携や、地域の医療機関等・介護事業者相互の紹介を行う。	高齢介護課	継続	A	-	-	暮らしの保健室(地域住民主体のサロン等)の活動や地域まるごと電話相談等による相談、地域包括ケア会議等を実施した。	A	A
⑥在宅医療・介護関係者の研修	医療機関や介護事業所等の地域における役割・特徴・課題等の共有を図るため、多職種研修を開催する。	高齢介護課	継続	A	270	151	(1)医療・介護関係者研修会 実施日:令和6年1月19日、参加数:48人 (2)介護支援専門員向け研修会 ①実施日:令和5年11月6日、参加数:18人	A	A

令和 5 年度 高 齢 者 保 健 福 祉 計 画 実 績 報 告

段階	進捗状況
A	80%～100%
B	60%～80%未満
C	40%～60%未満
D	20%～40%未満
E	0%～20%未満

施 策		5 在 宅 医 療 ・ 介 護 連 携 の 推 進							
施 策 目 標		担当課等	令和5年度					R4	R3
			区分	評価	予算額 (千円)	執行額 (千円)	実 施 内 容	評価	評価
⑦地域住民への普及啓発	講演会の開催、パンフレットの配布、菜の花チャンネルの発信等により、「在宅医療」の普及啓発を図る。	高齢介護課	継続	A	1,484	913	(1)在宅医療・介護・福祉を考える市民の集いを行った。 実施日：令和6年1月28日、参加数：75人 (2)地域住民主体のサロンでの相談（暮らしの保健室）を開催した。 実施回数：135日、相談者数：174件 (3)みんなのカンファを11回開催し、115人が参加した。暮らしの保健室を運営している方やコミュニティデザイナーが集まり、地域で困っている方々の情報共有や、地域住民の見守りについて意見交換等を行った。 (4)住民へのパンフレットを作成した。①菜のはな便り（4回発行） ②ケアカフェちらし ③市民の集い (5)LINEアカウントを開設し、コロナ禍による対面相談以外のツールでの「何でも相談」を行った。	A	A
⑧在宅医療・介護連携に関する関係市町の連携	「北葛北部在宅医療・介護連携推進会議」を設置・運営し、共通する情報の共有方法など、北葛北部医師会等関係団体と連携していく。	高齢介護課	継続	A	-	-	杉戸町と幸手市の連携が必要な事項について、実情に応じた内容検討を行う会議を開催し、多職種のメンバーで意見交換を行った。 開催日：令和5年6月22日、令和5年12月22日	A	A

令和 5 年度 高 齢 者 保 健 福 祉 計 画 実 績 報 告

段階	進捗状況
A	80%～100%
B	60%～80%未満
C	40%～60%未満
D	20%～40%未満
E	0%～20%未満

施 策		6 認 知 症 施 策 の 推 進									
施 策 目 標		担当課等	令和5年度					R4	R3		
			区分	評価	予算額 (千円)	執行額 (千円)	実 施 内 容	評価	評価		
(1)認知症総合支援事業											
①認知症初期集中支援チーム	必要な初期支援を包括的・集中的に行い、住み慣れた地域で生活するためのサポートを行う。	高齢介護課	継続	B	35	20	保健師や社会福祉士、認知症専門医等で構成される認知症初期支援チームを、各地域包括支援センターに設置している。認知症の方に対しての支援は、通常の業務で対応している。			B	B
②認知症徘徊声かけ訓練	地域で見守りを行う仕組みづくりを進めるため、「認知症徘徊声かけ訓練」を実施する。	高齢介護課	継続	A	9	0	地域住民や関係団体の協力のもと、認知症に関する講座と徘徊者への対応模擬訓練を合わせた「認知症声かけ訓練」を例年実施。令和5年度は11月11日西公民館にて開催した。			A	－
③徘徊高齢者見守りシール	高齢者が徘徊により所在不明になった場合の早期発見や事故を未然に防止すること等を目的に、「徘徊高齢者見守りシール」を配布する。	高齢介護課	継続	B	37	0	徘徊で帰宅困難になる恐れがある高齢者のご家族に対し、徘徊高齢者見守りシールを配布。令和5年度は新規で3名の登録があった。			B	B
④認知症地域支援推進員	認知症地域支援推進員を中心に認知症に対する相談支援を行い、認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活を継続できる地域づくりを推進する。	高齢介護課	継続	A	－	－	各地域包括支援センターに1名ずつ配置。認知症に対する相談支援を行い、認知症になっても安心して生活できるように支援を行った。			A	A
⑤オレンジカフェ(すぎびよんカフェ)	認知症の方を支えるつながりを支援する場である「すぎびよんカフェ」を実施する。	高齢介護課	継続	A	111	35	認知症の方の家族に対する支援事業として、認知症の方やその家族が気軽に集まれる場であるすぎびよんカフェを実施。新型コロナ感染拡大防止に配慮しつつ、1か所で月1回開催。令和5年度は2か所で13回開催。			A	A
(2)認知症サポーター養成講座	講座を開催し、認知症の理解を深める。	高齢介護課	継続	A	34	30	認知症の方や家族を見守る応援者である認知症サポーターの養成講座を開催した。 開催実績 2団体 38名			A	－
(3)認知症ケアパス	認知症についての正しい知識と理解に基づく本人やその家族への支援を包括的、継続的に実施する体制の構築に努める。	高齢介護課	継続	A	－	－	認知症と疑われる症状が発生した場合に、本人やその家族が住み慣れた地域でどのような支援を受けられるか、認知症ケアパスに基づき説明した。ケアパスについては令和5年度に改定版を発行した。			A	A

令和 5 年度 高 齢 者 保 健 福 祉 計 画 実 績 報 告

段階	進捗状況
A	80%～100%
B	60%～80%未満
C	40%～60%未満
D	20%～40%未満
E	0%～20%未満

基 本 方 針		第3節 保 健 、 福 祉 施 設 の 確 保 ・ 活 用							
施 策		1 介護保険施設以外の入所・入居施設の確保							
施 策 目 標		担当課等	令和5年度					R4	R3
			区分	評価	予算額 (千円)	執行額 (千円)	実 施 内 容	評価	評価
(1)養護老人ホーム	既存施設との連携を図り、適正な措置に努める。	高齢介護課	継続	A	2,947	2,283	環境上及び経済的な理由により、居宅での生活が困難な方を養護老人ホームに入所措置している。 措置人数:1人(R5.4.1～R5.6.22迄)	A	A
(2)ケアハウス、サービス付き高齢者向け住宅	高齢者の居住の安定確保を促進する。	高齢介護課	継続	A	—	—	高齢者向け住宅の建築や居住の相談を随時受け付けている。建築に関しては特養や小多機等も含めて11件の相談があった。また令和5年8月にはご長寿くらぶ杉戸の開設があった。	A	B
施 策		2 既存施設の利用促進・有効活用							
施 策 目 標		担当課等	令和5年度					R4	R3
			区分	評価	予算額 (千円)	執行額 (千円)	実 施 内 容	評価	評価
(1)保健センターの活用	①各種保健事業の拠点として、また、気軽に相談できる施設としての周知を図ることで、施設の利用促進に努める。 ②健康づくりに関する情報発信を進める。	健康支援課	継続	A	473	275	<健康センター年間計画表～げんきになるゾウー～配布> 各種保健事業の拠点としての周知を図るため年間計画表の全戸配布を行った。 18,353部	A	A
(2)すぎとピアの活用	①子どもたちと高齢者の世代間交流や児童生徒の体験学習の場としての活用に努める。 ②高齢者のための教育・啓発、レクリエーション施設として各関係機関との連携に努める。 ③高齢者の運動機能の維持向上及び運動習慣の定着を図ることに努める。	社会福祉協議会	継続	A	—	—	すぎとピア利用者数 45,154人 ・個人利用:22,097人 ・団体利用:23,057人 感染症対策を継続しながら施設運営を行った。利用を再開する団体や利用者が増えた。	A	A
(3)その他既存施設の有効活用	①公民館などを活用した高齢者の介護予防を含めた健康づくり事業を推進する。 ②地域の高齢者が自主的に地域集会施設を活用した、閉じこもり防止事業などを支援する。	産業振興課 (R3まで農業振興課)	継続	A	—	—	高野農村センター利用者数 14,872人	A	A
		産業振興課 (R3まで商工観光課)	継続	A	—	—	杉戸深輪産業団地地区センター利用人数 20,883人 (内訳) 体育室 8,036人 トレーニングルーム 8,964人 会議室 3,419人 和室 404人 調理室 60人	A	A
		社会教育課 (公民館)	継続	A	60	43	高齢者が同世代や他世代との交流を促進する事業を実施した。 ・文化祭 3,061人 ・将棋大会 22人 ・囲碁大会 24人 ・歴史散歩 4人 ・そば打ち体験教室 8人	A	—
		社会教育課 (生涯学習センター・図書館)	継続	A	50	50	・町民パソコン講座 パソコンを身近なものとして活用していただくための講座を開催した。 29講座 参加者 262人 ・第18回 図書館まつり 1,239人 ・大人のためのおはなし会 1回 44人 ※特に高齢者とは規定していないが、高齢者等の外出の機会や、出会いなども事業効果として求めたもの。	A	A

令和 5 年度 高 齢 者 保 健 福 祉 計 画 実 績 報 告

段階	進捗状況
A	80%～100%
B	60%～80%未満
C	40%～60%未満
D	20%～40%未満
E	0%～20%未満

基 本 方 針		第4節 地域みんなで支え合い ・ 交流のある社会づくりへの支援								
施 策		1 生きがい活動の充実								
施 策 目 標		担当課等	令和5年度					R4	R3	
			区分	評価	予算額 (千円)	執行額 (千円)	実 施 内 容	評価	評価	
(1)敬老事業										
①高齢者長寿祝い事業	高齢者の生きがいとして長寿の祝いに努める。	高齢介護課	継続	A	8,426	7,490	長寿のお祝いとして、町で使用できるまごころ商品券を939人に贈呈した。 80歳(5,000円)722人・90歳(10,000円)189人・100歳(100,000円)7人・101歳以上(30,000円)21人	A	A	
		社会福祉協議会	継続	A	307	229	敬老の日の記念事業として、85歳に達した夫婦に、長寿をお祝いし記念品を贈呈した。 対象者:52組 感染症対策の観点から、記念品は郵送とした。	A	A	
②地区敬老事業	身近な地区で開催される敬老会を支援する。	社会福祉協議会	継続	A	1,000	960	支部(行政区)で行う敬老事業等に対し、助成を行った。	A	A	
(2)生涯学習活動	高齢者の多様な学習ニーズの把握に努めるとともに、高齢者の生きがいづくりや自主的な学習活動を促進する。	社会教育課 (公民館)	継続	A	60	43	高齢者が同世代や他世代との交流を促進する事業を実施した。 ・文化祭 3,061人 ・将棋大会 22人 ・囲碁大会 24人 ・歴史散歩 4人 ・そば打ち体験教室 8人	A	A	
		社会教育課 (生涯学習センター・図書館)	継続	A	50	50	・町民パソコン講座 パソコンを身近なものとして活用していただくための講座を開催した。 29講座 参加者 262人 ・第18回 図書館まつり 1,239人 ・大人のためのおはなし会 1回 44人 ※特に高齢者とは規定していないが、高齢者等の外出の機会や、出会いなども事業効果として求めたもの。	A	A	
(3)生涯スポーツ・レクリエーション活動の普及	①軽スポーツやレクリエーション活動の充実に努める。 ②地域スポーツ活動の活性化を図るための人材育成に努める。	社会教育課 (スポーツ振興)	継続	A	1,941	1,941	スポーツ教室・イベントの開催 ①親子で参加!! スポフェス 実施:11月12日(日) 会場:泉保育園園庭 参加者:144名 ②体力測定 実施日:12月10日(日) 会場:杉戸小学校校庭 参加者:42名 ③杉戸宿ウオーク 実施日:11月19日(日) 会場:エコ・スポいずみ～正明寺～小林園芸場～泉小～新井農園～加藤柿園～エコ・スポいずみ 参加者:17名 ④健康スポーツ・文化教室の開催 ・教室 年間96回 会場:エコ・スポいずみ 参加者2141名 ・イベント 年間 7回 会場:エコ・スポいずみ 参加者405名 ⑤ファミリーバトミントン教室 毎週土曜日 会場:杉戸小学校体育館 年間20回 参加者のべ198名 ⑥ファミリーバトミントン交流大会 実施日:6月17日(土) 会場:杉戸小学校体育館 参加者:24名 ⑦さいかつぼーる教室(中止) 毎週水曜日 会場:杉戸小学校体育館 ⑧モルック大会 実施日:2月25日(日) 会場:杉戸中学校体育館 参加者:30名	A	A	
		社会教育課 (公民館)	継続	A	60	43	高齢者が同世代や他世代との交流を促進する事業を実施した。 ・文化祭 3,061人 ・将棋大会 22人 ・囲碁大会 24人 ・歴史散歩 4人 ・そば打ち体験教室 8人	A	-	

令和 5 年度 高 齢 者 保 健 福 祉 計 画 実 績 報 告

段階	進捗状況
A	80%～100%
B	60%～80%未満
C	40%～60%未満
D	20%～40%未満
E	0%～20%未満

施 策		2 就 労 機 会 の 充 実							
施 策 目 標		担当課等	令和5年度					R4	R3
			区分	評価	予算額 (千円)	執行額 (千円)	実 施 内 容	評価	評価
(1)シルバー人材センター	①就労機会の確保を支援する。 ②民間団体としての自主的事業を促進する。	高齢介護課	継続	A	24,271	24,271	高齢者に就労の場を提供し、仲間づくり・生きがいづくりに寄与している(公)シルバー人材センターに対し補助金を交付した。	A	A
(2)就労の促進	①希望者への情報の提供に努める。 ②事業者への啓発活動などに努める。	産業振興課 (R3まで商工観光課))	継続	A	—	—	広報等による情報の提供、また、ハローワーク求人情報の提供等を実施。	A	A

令和 5 年度 高 齢 者 保 健 福 祉 計 画 実 績 報 告

段階	進捗状況
A	80%～100%
B	60%～80%未満
C	40%～60%未満
D	20%～40%未満
E	0%～20%未満

施 策		3 自 主 的 活 動 ・ 地 域 交 流 の 促 進							
施 策 目 標		担当課等	令和5年度					R4	R3
			区分	評価	予算額 (千円)	執行額 (千円)	実 施 内 容	評価	評価
(1) 老人クラブ活動 (一部新規)	①老人クラブの自主的活動を支援。 ②クラブの活性化に努める。	高齢介護課	継続	A	1,438	1,372	高齢者の地域活動を活発にするため、老人クラブ連合会及び単位老人クラブに補助を実施した。 単位老人クラブ数 21クラブ 会員数598人	A	A
		社会福祉協議会	継続	A	66	66	老人クラブ連合会に対し、助成を行い支援した。	A	A
(2) 老人クラブ講師派遣 事業	老人クラブの活性化を図る。	高齢介護課	継続	A	—	—	老人クラブ活動の活性化と高齢者の生きがい・健康づくりに寄与するため、単位クラブに講師派遣の 仲介をした。 音楽療法:3クラブ 延45人 MG体操:3クラブ 延65人	A	A
(3) 世代間交流	①保育園や幼稚園・小・中学校において、幼児・児童・生徒と 高齢者の交流事業など世代間の交流を進める。 ②伝統行事や芸能などの伝承・保存活動を通した世代間交 流を促進する。	子育て支援課	継続	A	—	—	世代間交流事業として、園児が祖父母に心のこもった手紙を送ったり、観劇会へ招待する等、各種高 齢者とのふれあい事業を展開し、園児の健やかな心を育てることができた。さらに、地域交流として、 食育活動(稲刈り、畑の耕作、ぶどう狩り等)の指導をいただくなど、協働して事業を推進することがで きた。	A	A
		学校教育課	継続	A	—	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、交流活動を進めることはできなかった。このため、交流の流れが 途切れないよう創意工夫をしながら、児童・生徒が人と人との心のつながりを感じ取ることができる学 習を各幼稚園、各小・中学校で行った。	A	A
		社会教育課 (公民館)	継続	A	60	43	高齢者が同世代や他世代との交流を促進する事業を実施した。 ・文化祭 3,061人 ・将棋大会 22人 ・囲碁大会 24人 ・歴史散歩 4人 ・そば打ち体験教室 8人	A	—
		社会福祉協議会	継続	A	700	700	町内保育園・幼稚園・小中学校の福祉協力校に助成を行う。新型コロナウイルス感染症拡大以前の 状況に戻りつつあり、各所ともに工夫を凝らした事業展開を行った。	A	B
(4) 地域コミュニティ活動への参加支援									
①シニアサロン事業	高齢者の居場所を確保し、高齢者の生きがいづくりを支援す る。	高齢介護課	継続	A	1,050	800	高齢者の生きがいづくりの支援として、シニアサロン19団体に運営費の補助を行った。 サロン交流事業は、令和5年度の開催内容や実施方法について代表者にアンケート調査を実施し、 杉戸町シニアサロンガイドを作成し周知に努めた。	A	A
②すぎとピアサロンの実 施支援	地域の自主活動として行う、住民相互の援助活動への支援 に努める。	社会福祉協議会	継続	A	35	18	令和5年度より月2回以上実施することができた。 実施回数:32回 参加人数:317人	B	—
(5) 社会福祉協議会活動 への支援	社会福祉協議会が地域福祉推進の中心的な役割を発揮でき るよう、環境の整備に努める。	福祉課	継続	A	28,511	28,469	地域福祉の充実と豊かな地域社会実現のため、杉戸町社会福祉協議会に対し補助金を交付した。 社会福祉協議会運営費補助金 27,908千円、地域福祉基金事業補助金 561千円	A	A
(6) ボランティア活動	ボランティア活動を通じて、住民の意識向上に努める。	社会福祉協議会	継続	A	1,646	1,566	年間を通してボランティア活動希望者と活動者希望との調整を図った。奇数月にボランティア情報紙 を発行し、HPIにも掲載するなど情報発信に努めた。特に7・8月は強化月間として体験プログラム一 覧を全戸配布した。町内の小中高全児童生徒にチラシを配付し、小中高校生とその親子を中心にボ ランティア体験ができた。	A	B

令和 5 年度 高 齢 者 保 健 福 祉 計 画 実 績 報 告

段階	進捗状況
A	80%～100%
B	60%～80%未満
C	40%～60%未満
D	20%～40%未満
E	0%～20%未満

施 策		4 生活支援サービスの体制整備								
施 策 目 標		担当課等	令和5年度						R4	R3
			区分	評価	予算額 (千円)	執行額 (千円)	実 施 内 容	評価	評価	
(1)介護予防・生活支援サービスの体制整備										
①生活支援コーディネーター	継続した在宅生活を支えるため、地域資源や地域ニーズの把握を行い、住民ボランティア等の担い手を養成しながら、移動支援、買い物及びゴミ出し支援等、住民主体の取組を推進する。	高齢介護課	継続	A	102	23	生活支援員養成講習を受講した方に生活支援サポーターとなっただき、ごみ出し困難者の支援を行う活動につなげた。 また、地域2団体の移動支援・買い物支援活動を支援した。		A	A
②協議体	「第1層協議体」を設置し、目指すべき地域像を定め、多様な関係者が協働して地域づくりを推進する体制を整備する。 また、地域ごとに行う座談会を第2層協議体として、地域主体による生活支援体制の充実を図る。	高齢介護課	継続	A	—	—	第1層協議体を令和5年7月19日及び12月19日に開催し、勉強会及び意見交換を行った。 また、げんきSUGI体操活動団体において、座談会を6回実施し、地域ごとの課題及び実施可能な支え合い活動について住民の方と共有を図った。		A	A
③サービスの担い手養成	介護予防・生活支援サービス事業における、訪問型サービスには「緩和した基準によるサービス」と「住民主体による支援」がある。これらの生活支援の担い手養成を行う。	高齢介護課	継続	A	69	69	生活支援員養成講習を令和5年10月10日・11日に開催し、12人を養成した。		A	A

令和 5 年度 高 齢 者 保 健 福 祉 計 画 実 績 報 告

段階	進捗状況
A	80%～100%
B	60%～80%未満
C	40%～60%未満
D	20%～40%未満
E	0%～20%未満

基 本 方 針		第5節 高 齢 者 に や さ し い ま ち づ く り の 推 進								
施 策		1 居 住 環 境 の 整 備								
施 策 目 標		担当課等	令和5年度						R4	R3
			区分	評価	予算額 (千円)	執行額 (千円)	実 施 内 容		評価	評価
(1)高齢者に配慮した町営住宅の普及促進	今後も、高齢者が入居しやすいように高齢者の優先登録制度を維持していきます。	建築課	継続	A	—	—	高齢者世帯は優先的に登録を行う制度を設け、高齢者が入居しやすい居住環境の維持に努めた。		A	A
(2)福祉のまちづくりの推進 (一部新規)	①公共施設の整備にあたっては、バリアフリーやユニバーサルデザインに配慮した整備を進める。 ②民間施設についても、バリアフリーやユニバーサルデザインに配慮した整備を促進する。	福祉課	継続	A	—	—	公共施設の整備にあたっては、バリアフリーやユニバーサルデザインの配慮に努めるよう、関係課と連携を図った。		A	A
		総合政策課	継続	A	—	—	第6次杉戸町総合振興計画を推進していく中で、高齢や障がいの有無にかかわらず、誰もが安心して生活を送れるよう「機能的で自然と調和した快適なまち」を掲げ、各施策を実施した。		A	A
		市街地整備推進室	継続	A	—	—	旧杉戸小学校跡地の整備事業者と協議をし、整備予定の複合施設等についてはバリアフリーやユニバーサルデザインに配慮した整備を行った。		B	B
(3)公園・緑地などの整備 (一部新規)	公園等の整備に際し、車いす対応トイレを設置するなど、高齢者が利用しやすいようユニバーサルデザインに配慮した整備、改善を進める。	都市施設整備課	継続	B	—	—	新たな公園(中央児童公園)について、ユニバーサルデザインに配慮した整備を行うよう推進した。		B	B
		市街地整備推進室	継続	A	—	—	旧杉戸小学校跡地の整備事業者と協議をし、整備予定の複合施設等についてはバリアフリーやユニバーサルデザインに配慮した整備を行った。		B	B
(4)道路環境の整備 (一部新規)	歩道の整備や段差の解消、案内板の設置などにあたっては、ユニバーサルデザインに配慮し、安心安全な道路環境の整備を進める。	都市施設整備課	継続	A	44,533	43,967 42,345	大字下高野地内/町道Ⅱ級18号線道路改良工事(3工区)にてユニバーサルデザインに配慮した歩道の整備を行った。L=39.9m		A	A
		市街地整備推進室	継続	B	—	—	町道の整備等にあたっては、ユニバーサルデザインに配慮し、安全安心な道路環境整備を進めた。		A	B

令和 5 年度 高 齢 者 保 健 福 祉 計 画 実 績 報 告

段階	進捗状況
A	80%～100%
B	60%～80%未満
C	40%～60%未満
D	20%～40%未満
E	0%～20%未満

施 策		2 安全な生活の確保								
施 策 目 標		担当課等	令和5年度						R4	R3
			区分	評価	予算額 (千円)	執行額 (千円)	実 施 内 容	評価	評価	
(1)防災対策	迅速な避難行動をとりにくい高齢者等を災害から守るため、地域防災計画に基づき、各地域における避難行動要支援者の避難行動支援体制の確立や見守りネットワークの連携に努める。	危機管理課	継続	A	1,046	897	自主防災組織に補助金を交付し、要配慮者を含めた地域防災体制の強化に努めた(防災資機材等の購入4件・防災訓練の実施11件・防災士資格取得補助1件の補助金)。「杉戸町避難行動要支援者登録制度実施要綱」に基づき、避難支援等関係に避難行動要支援者名簿を提供した。また、新規対象者へ制度案内文を送付し周知に努めた。	A	A	
		福祉課	継続	A	—	—	避難行動要支援者の避難行動支援体制の確立について、近隣市町で構成している埼葛北地区地域自立支援協議会において、災害時個別支援計画の作成等に向け、引き続き、調査及び検討を進めた。また、障がい者協議会を中心に定期的に開催している防災に関する会議に福祉課も出席し、防災意識の向上を図った。	A	A	
		高齢介護課	継続	A	—	—	避難行動要支援者名簿の作成に向け、危機管理課の事務等に協力した。	A	A	
(2)防犯対策	①住民一人ひとりの防犯意識の高揚に努める。 ②関係機関との協力のもと、地域住民と連携した防犯活動の充実に努める。	危機管理課	継続	A	1,598	1,598	杉戸警察署と連携し、防犯キャンペーンを実施した。 杉戸管内防犯協議会へ補助金を交付し、防犯対策の啓発を推進した。	A	A	
(3)交通安全対策 (一部新規)	①高齢者を対象にした交通安全啓発の内容を充実する。 ②ドライバーへの注意を喚起するため、道路反射鏡や路面標示の設置などを推進する。 ③運転に不安を持つ高齢者に対し、自主的に運転免許証を返納しやすい環境づくりを支援するため、町内巡回バスの回数券の助成及び運転経歴証明書の提示にて運賃を半額とする。	危機管理課	継続	B	9,788	9,788	地域からの交通安全に係る要望について、警察と協議を行いながら対策を実施するとともに、交通安全施設の設置・修繕を実施し、交通事故防止に努めた。なお、高齢者に特化した啓発は実施していないが、交通安全運動等による啓発活動において、全町民への交通安全意識の向上に努めている。	B	B	
		住民協働課	継続	A	—	—	運転に不安を持つ高齢者に対し、自主的に運転免許証を返納しやすい環境づくりを支援するため、町内巡回バスの回数券を助成した。(令和5年度助成人数:93人、利用枚数:2,406枚)	A	A	
(4)消費者保護	①広報等を通じて情報の提供に努める。 ②相談体制の充実に努める。	産業振興課 (R3まで商工観光課)	継続	A	305	276	ホームページ等による情報提供及び消費生活相談を実施した。また、令和5年度より火・木曜日に加え、金曜日を相談日として拡充した。 消費生活相談件数 208件	A	A	
(5)緊急情報キット配布事業	事業の継続を図り、緊急情報キットの普及に努める。	高齢介護課	継続	A	—	—	災害時や緊急時に必要な情報をあらかじめ指定の用紙に記入し、容器に入れ、冷蔵庫で保管するもので、町内全世帯対象。3,059本(平成22年度からの累計)	A	A	
(6)ヘルプマーク・カードの配布	ヘルプカードを配布し、高齢者等の安心・安全なまちづくりを進める。	福祉課	継続	A	—	—	ヘルプカード及びヘルプマークについて、町内公共施設窓口への設置、町HPや広報すぎとでの周知を行った。 配布実績:ヘルプカード 34枚、ヘルプマーク 172枚	B	B	
(7)感染症発生時に必要な物資の確保(新規)	衛生用品の確保が困難となった場合に備え、町の衛生用品の備蓄に努める。	健康支援課	継続	A	121	58	令和5年度は、備蓄用マスク1万枚を買い替えた。今後も、継続して、マスクは3年・防護服・アルコールは5年ごとに買替を予定している。	A	A	

令和 5 年度 高 齢 者 保 健 福 祉 計 画 実 績 報 告

段階	進捗状況
A	80%～100%
B	60%～80%未満
C	40%～60%未満
D	20%～40%未満
E	0%～20%未満

施 策		3 高 齢 者 の 権 利 擁 護								
施 策 目 標		担当課等	令和5年度					R4	R3	
			区分	評価	予算額 (千円)	執行額 (千円)	実 施 内 容	評価	評価	
(1)福祉サービス利用援助事業	一人で生活する利用者等が安心して生活が送れるよう、あんしんサポートねっとの利用を促進する。	社会福祉協議会	継続	A	3,514	3,501	利用者が安心して生活できるよう、関係機関と連携し福祉サービス利用援助及び日常生活における手続きや金銭管理を行った。	A	A	
(2)要援護者あんしん見守りネットワークの活用	ネットワークの支援体制の充実に努める。	福祉課	継続	A	—	—	民生委員の協力を得て、地域の見守り活動を実施した。 また、要援護者安心見守りネットワークの会議等に民生委員が出席し、関係者との連携や情報交換を行った。	A	A	
		高齢介護課	継続	A	96	53	高齢者等が住み慣れた地域で安心して生活が出来るよう、ネットワーク参加団体や参加者を主体とし、地域全体で見守る。 例年行っている全体会は、令和6年1月25日にすぎとピアにて実施。公益社団法人 成年後見センター・リーガルサポート 埼玉支部 司法書士さくら法務事務所、司法書士 大熊ひとみ先生を招聘し、講演頂くとともに引き続き協力を依頼した。	A	A	
(3)成年後見制度	①相談体制の充実を図るとともに、地域で早期発見・早期対応を図り、虐待防止に努める。 ②成年後見制度について、住民への周知・啓発活動に努める。 ③高齢者の消費者被害の防止について、被害の早期発見や消費生活支援センター等との連携に努める。	高齢介護課	継続	A	96	53	杉戸町要援護者あんしん見守りネットワークを活用することにより、地域での見守りの目を増やして虐待防止等に努めた。また、成年後見制度について、住民の集まりの場等で周知に努めた。消費者被害について、その方の状況に応じ適切な専門機関につなげる等の連携に努めた。	A	A	
(4)生活困窮者自立支援対策(新規)	社会的に孤立している方を地域で受け止めることができるよう、民生委員やボランティアの方などと連携して実態の把握や支援を行う。 また、生活に困窮している方などについて、関係機関と連携支援を行う。	福祉課	継続	A	—	—	民生委員の協力を得て、地域の見守り活動の中で相談のあった生活困窮者を関係機関につなぐ等、連携しながら対応した。	A	A	
		高齢介護課	継続	A	96	53	杉戸町要援護者あんしん見守りネットワークを活用することにより、高齢者に対して地域での見守りの目を増やす。また、成年後見制度について、住民の集まりの場等で周知に努める。消費者被害について、その方の状況に応じ、適切な専門機関に繋げる等の連携に努めた。	A	A	
施 策		4 保 健 ・ 医 療 ・ 福 祉 情 報 の 提 供								
施 策 目 標		担当課等	令和5年度					R4	R3	
			区分	評価	予算額 (千円)	執行額 (千円)	実 施 内 容	評価	評価	
(1)保健・医療・福祉情報の提供	ホームページや杉戸町メール配信サービス「すぎめー。」を活用して、高齢者の生活に必要な保健・医療・福祉に関する情報提供を進める。	高齢介護課	継続	A	—	—	ホームページ等を必要時に更新し、利用者への情報提供に努めた。	A	A	

高齢者保健福祉サービスの目標量と実績

区 分		5年度 目 標	5年度 実 績	5年度 達成率(%)
ふるさと元気村	事前講習会(回)	12	12	100.0
	新規登録者(人)	55	59	107.3
	年間利用者数(人)	7,440	7,329	98.5
まいにち体操教室	参加人数(人)	280	178	63.6
	実施回数(回)	174	240	137.9
	延べ人数(人)	6,700	4,200	62.7
出前いきいき体操教室	実施団体数(団体)	15	10	66.7
介護予防サポーター養成講座	参加人数(人)	30	10	33.3
	実施回数(回)	12	12	100.0
	延べ人数(人)	340	91	26.8
げんきSUGI体操教室	実施団体数(団体)	34	24	70.6
げんきSUGI体操サポーター養成講座	参加人数(人)	41	49	119.5
	実施回数(回)	16	18	112.5
	延べ人数(人)	282	178	63.1
配食サービス事業	延べ食数(食)	8,336	8,814	105.7
	利用者数(人)	98	77	78.6
ふれあい事業	友愛訪問事業(人)	1,100	968	88.0
緊急通報システム整備事業	設置件数(件)	245	224	91.4
紙おむつ等支給事業	利用実人数(人)	175	221	126.3
認知症サポーター養成講座	サポーター数(人)	3,251	3,035	93.4
高齢者長寿祝い事業	80歳(人)	771	722	93.6
	90歳(人)	233	189	81.1
	100歳(人)	20	7	35.0
	101歳以上(人)	25	21	84.0
	85歳夫婦	65	52	80.0
シルバー人材センター	会員数(人)	410	279	68.0
老人クラブ	クラブ数	23	21	91.3
	会員数(人)	743	598	80.5
老人クラブ講師派遣事業	講師派遣回数(回)	16	6	37.5
ボランティア	登録者数(人)	900	913	101.4
担い手養成	養成者数(人)	15	12	80.0
緊急情報キット配布事業	累計本数(本)	2,460	3,059	124.3
ヘルプカード配布事業	配布枚数(枚)	300	34	11.3

介護保険サービスの見込み量(介護給付)と実績

区 分		単 位 (年間延数)	5年度 見込量	5年度 実 績	5年度 実績率(%)
1 居宅介護サービス					
(1)訪問介護	回数		44,708	55,558	124.3
	人数		2,688	2,850	106.0
(2)訪問入浴介護	回数		1,817	1,625	89.4
	人数		324	372	114.8
(3)訪問看護	回数		15,635	12,437	79.5
	人数		1,956	1,669	85.3
(4)訪問リハビリテーション	回数		7,920	11,923	150.5
	人数		624	914	146.5
(5)居宅療養管理指導	人数		3,972	3,725	93.8
(6)通所介護	回数		48,758	50,489	103.6
	人数		5,280	5,136	97.3
(7)通所リハビリテーション	回数		17,116	14,166	82.8
	人数		2,712	1,954	72.1
(8)短期入所生活介護	日数		13,048	16,610	127.3
	人数		1,344	1,370	101.9
(9)短期入所療養介護(老健・病院等)	日数		858	459	53.5
	人数		156	49	31.4
(10)特定施設入居者生活介護	人数		1,476	1,526	103.4
(11)福祉用具貸与	人数		8,868	8,460	95.4
(12)特定福祉用具購入	人数		216	155	71.8
2 地域密着型サービス					
(1)夜間対応型訪問介護	人数		12	0	0.0
(2)小規模多機能型居宅介護	人数		336	216	64.3
(3)認知症対応型共同生活介護	人数		612	541	88.4
(4)定期巡回・随時対応型訪問介護看護	人数		24	39	162.5
(5)地域密着型通所介護	回数		7,183	7,407	103.1
	人数		744	707	95.0
3 住宅改修	人数		132	81	61.4
4 居宅介護支援	人数		11,772	12,263	104.2
5 介護保険施設サービス					
(1)介護老人福祉施設	人数		3,360	3,690	109.8
(2)介護老人保健施設	人数		1,128	961	85.2
(3)介護療養型医療施設	人数		24	25	104.2
(4)介護医療院	人数		12	3	25.0

介護保険サービスの見込み量(予防給付)と実績

区 分	単 位 (年間延数)	5年度 見込量	5年度 実 績	5年度 実績率 (%)
1 介護予防サービス				
(1)介護予防訪問看護	回数	1,412	1,517	107.4
	人数	264	286	108.3
(2)介護予防訪問リハビリテーション	回数	2,210	2,171	98.2
	人数	192	175	91.1
(3)介護予防居宅療養管理指導	人数	132	176	133.3
(4)介護予防通所リハビリテーション	人数	1,056	682	64.6
(5)介護予防短期入所生活介護	日数	432	162	37.5
	人数	72	44	61.1
(6)介護予防特定施設入居者生活介護	人数	168	85	50.6
(7)介護予防福祉用具貸与	人数	1,872	2,022	108.0
(8)特定介護予防福祉用具購入	人数	84	40	47.6
2 介護予防地域密着型サービス				
(1)介護予防小規模多機能型居宅介護	人数	12	30	250.0
(2)介護予防認知症対応型共同生活介護	人数	0	9	皆増
3 介護予防住宅改修	人数	72	43	59.7
4 介護予防支援	人数	2,820	2,672	94.8

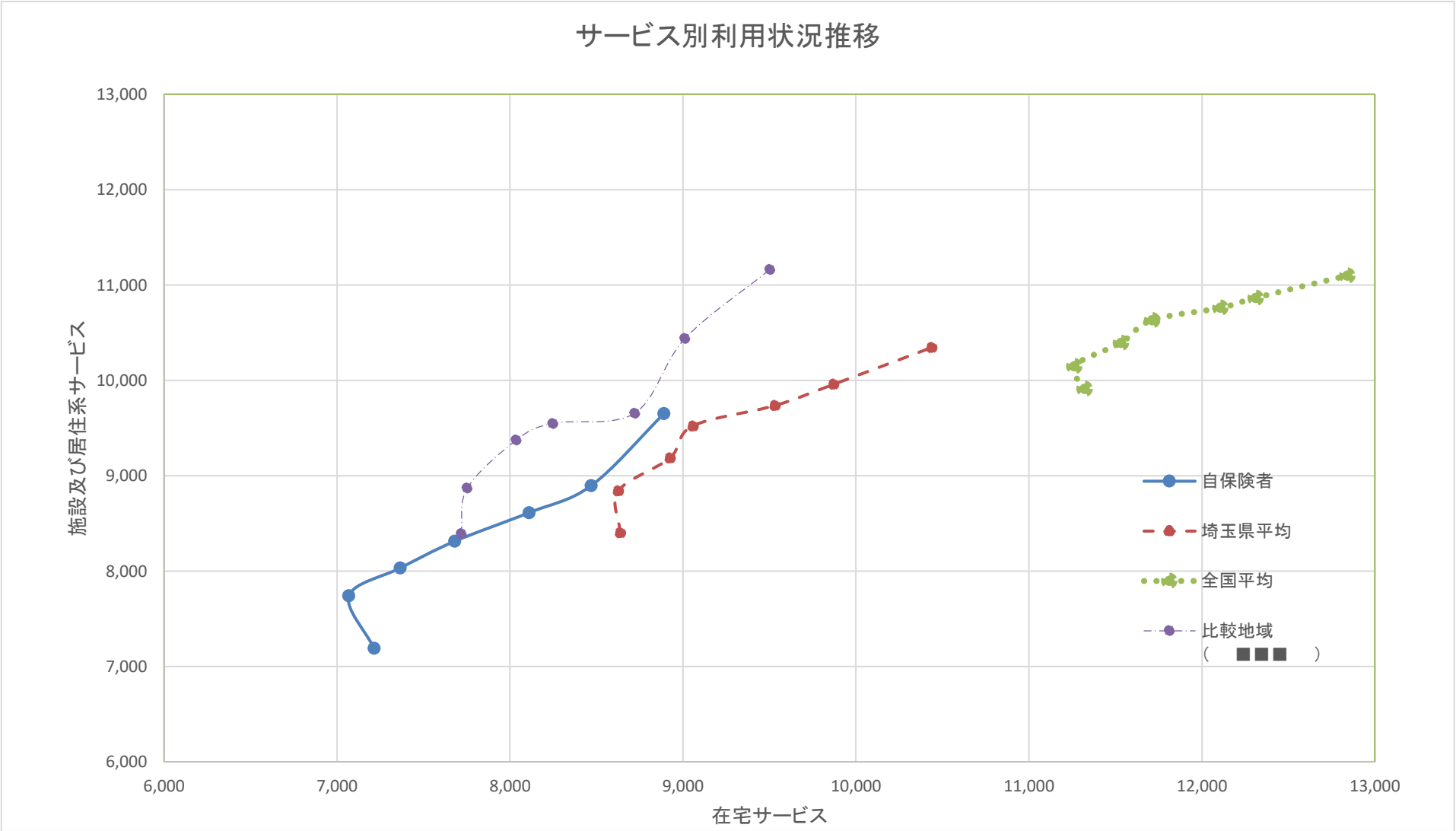
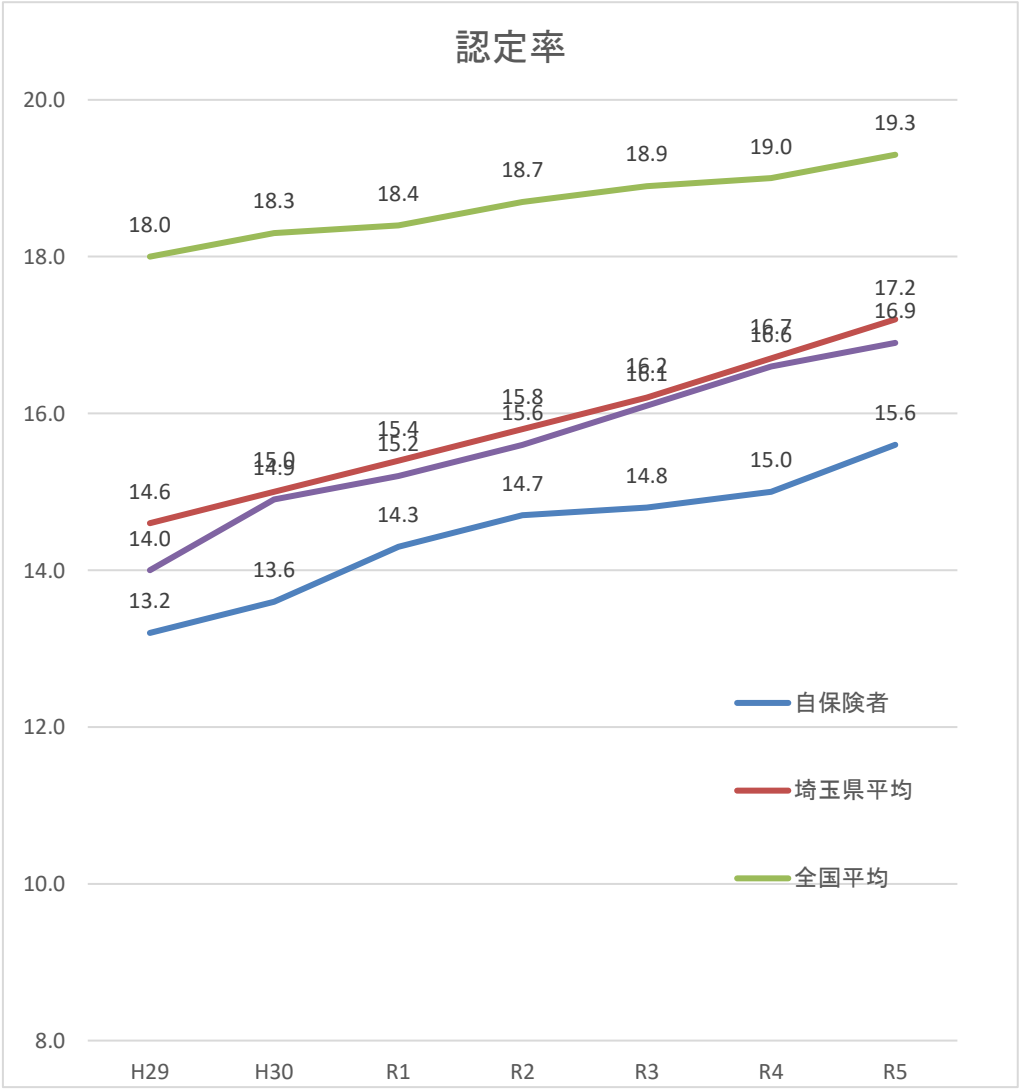
要介護認定者数の推計と実績

区 分	単 位	5年度 推 計	5年度 実 績	5年度 実績率(%)
要介護認定者数	人数	2,508	2,389	95.3

第8期介護保険事業の地域分析・検討結果記入シート

活用データ名・ 指標名	指標 ID	単位	データの値																											
			自保険者							埼玉県平均							全国平均							比較地域 (■ ■ ■)						
			H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
認定率	B4-a	%	13.2	13.6	14.3	14.7	14.8	15.0	15.6	14.6	15.0	15.4	15.8	16.2	16.7	17.2	18.0	18.3	18.4	18.7	18.9	19.0	19.3	14.0	14.9	15.2	15.6	16.1	16.6	16.9
調整済み認定率	B5-a	%	16.8	17.1	17.5	17.8	17.6	17.4		17.1	17.4	17.6	17.8	18.0	18.3		18.0	18.3	18.4	18.7	18.9	19.0		17.1	17.7	18.0	18.0	18.1	18.1	
調整済み重度認定率 (要介護3～5)	B6-a	%	5.8	5.9	5.9	6.3	6.4	6.3		6.2	6.3	6.4	6.4	6.5	6.6		6.3	6.3	6.3	6.4	6.5	6.5		6.4	6.9	7.1	6.6	6.5	6.5	
調整済み軽度認定率 (要支援1～要介護2)	B6-b	%	11.0	11.2	11.6	11.5	11.1	11.1		10.9	11.1	11.3	11.5	11.6	11.7		11.7	12.0	12.1	12.3	12.4	12.5		10.7	10.8	10.9	11.3	11.5	11.6	
			H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
受給率 (施設サービス)	D2	%	2.2	2.3	2.3	2.3	2.4	2.4	2.6	2.4	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.6	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.9	2.7	2.8	2.9	2.9	2.8	3.0	3.1
受給率 (居住系サービス)	D3	%	0.8	1.0	1.0	1.1	1.1	1.1	1.2	1.0	1.2	1.3	1.3	1.3	1.4	1.5	1.2	1.3	1.2	1.3	1.3	1.3	1.4	0.6	0.7	0.8	0.8	0.9	1.0	1.1
受給率 (在宅サービス)	D4	%	7.2	7.1	7.3	7.6	7.9	8.0	8.3	7.7	7.6	7.8	8.0	8.3	8.6	8.8	9.9	9.6	9.8	9.9	10.2	10.4	10.5	7.8	7.7	7.9	8.0	8.3	8.5	8.8
高齢化率	A2	%	30.2	31.1	32.0	32.9	33.2	33.6	34.0	25.3	25.7	26.0	26.3	26.6	26.9	27.2	27.0	27.3	27.7	28.0	28.3	28.7	29.0	30.8	31.3	31.7	32.1	32.3	32.4	32.6
第1号被保険者1人あ たり給付月額	D5	円	14,404	14,809	15,396	15,991	16,722	17,366	18,543	17,037	17,465	18,109	18,579	19,266	19,829	20,782	21,233	21,413	21,925	22,344	22,865	23,176	23,939	16,109	16,623	17,409	17,797	18,377	19,451	20,665
うち在宅サービス	D6a	円	7,214	7,069	7,365	7,680	8,110	8,470	8,891	8,637	8,626	8,924	9,057	9,531	9,871	10,438	11,321	11,262	11,531	11,712	12,107	12,311	12,841	7,718	7,753	8,036	8,248	8,721	9,012	9,503
うち施設及び居住系 サービス	D6b	円	7,190	7,740	8,031	8,312	8,612	8,896	9,652	8,400	8,839	9,185	9,522	9,735	9,958	10,344	9,912	10,151	10,393	10,633	10,758	10,865	11,098	8,391	8,870	9,373	9,549	9,656	10,439	11,163

※R3以前は年報より作成、R4以降は月報による速報値(年報作成後に数字が修正される可能性があります)



第9期保険者別介護保険料額（基準額）

単位：円／月

保 険 者 名	第8期保険料 基準額(月額)	第9期保険料 基準額(月額)	保険料基 準額 の伸び率	(参考) 要介護認 定率
	(円)	(円)	(%)	令和5年12月末時点
さいたま市	6,034	6,406	6.2%	18.8%
川越市	5,270	5,830	10.6%	18.2%
川口市	5,907	6,076	2.9%	17.8%
行田市	5,600	5,720	2.1%	15.0%
秩父市	5,400	5,400	0.0%	19.7%
所沢市	5,358	5,634	5.2%	18.0%
飯能市	5,591	5,591	0.0%	15.7%
加須市	6,031	6,031	0.0%	15.3%
本庄市	5,200	5,450	4.8%	16.6%
東松山市	5,300	5,700	7.5%	16.0%
春日部市	5,400	6,300	16.7%	17.4%
狭山市	4,784	5,625	17.6%	15.8%
羽生市	5,940	6,490	9.3%	16.5%
鴻巣市	5,200	5,800	11.5%	13.2%
上尾市	5,603	6,297	12.4%	17.6%
草加市	5,400	5,980	10.7%	17.7%
越谷市	5,380	6,000	11.5%	17.1%
蕨市	5,697	5,762	1.1%	19.0%
戸田市	6,400	6,450	0.8%	17.1%
入間市	4,940	5,390	9.1%	18.4%
朝霞市	5,700	6,550	14.9%	18.3%
志木市	4,967	5,690	14.6%	18.0%
和光市	5,455	5,880	7.8%	13.0%
新座市	5,346	6,139	14.8%	18.5%
桶川市	5,300	6,100	15.1%	17.9%
久喜市	5,161	5,355	3.8%	15.4%
北本市	5,002	5,800	16.0%	15.0%
八潮市	4,900	5,830	19.0%	16.0%
富士見市	5,412	5,800	7.2%	18.1%
三郷市	5,780	6,300	9.0%	17.0%
蓮田市	5,555	5,850	5.3%	17.5%
坂戸市	4,600	4,900	6.5%	15.8%
幸手市	4,722	5,130	8.6%	14.2%
鶴ヶ島市	4,500	4,850	7.8%	14.1%
日高市	4,700	5,300	12.8%	14.8%
吉川市	4,844	5,100	5.3%	15.2%
ふじみ野市	5,250	5,750	9.5%	17.6%
白岡市	4,918	5,491	11.7%	15.2%
伊奈町	5,500	6,300	14.5%	16.1%
三芳町	5,050	5,500	8.9%	15.6%
毛呂山町	4,600	5,400	17.4%	15.6%
越生町	5,650	5,650	0.0%	16.3%
滑川町	5,000	5,000	0.0%	13.9%
嵐山町	5,000	5,300	6.0%	16.4%
小川町	5,000	5,300	6.0%	16.0%
川島町	5,400	5,900	9.3%	14.9%
吉見町	5,600	5,700	1.8%	14.3%
鳩山町	3,800	4,300	13.2%	12.6%
ときがわ町	5,500	5,500	0.0%	16.3%
横瀬町	5,200	5,990	15.2%	17.8%
皆野町	5,500	5,700	3.6%	18.9%
長瀨町	5,000	5,700	14.0%	17.7%
小鹿野町	5,990	5,990	0.0%	17.5%
東秩父村	6,923	6,916	-0.1%	15.8%
美里町	5,800	6,000	3.4%	16.2%
神川町	5,600	5,600	0.0%	13.9%
上里町	4,950	5,350	8.1%	13.6%
宮代町	4,980	5,489	10.2%	16.8%
杉戸町	4,639	5,203	12.2%	15.5%
松伏町	4,740	5,650	19.2%	14.9%
大里広域市町村圏組合	5,800	6,100	5.2%	17.6%
埼玉県	5,481	5,922	8.0%	
全国	6,014	6,225	3.5%	

※大里広域市町村圏組合
（熊谷市、深谷市、寄居町）

保 険 者 名	第8期保 険料 基準額 (月額)	保 険 者 名	第9期保 険料 基準額 (月額)
	(円)		(円)
鳩山町	3,800	鳩山町	4,300
鶴ヶ島市	4,500	鶴ヶ島市	4,850
坂戸市	4,600	坂戸市	4,900
毛呂山町	4,600	滑川町	5,000
杉戸町	4,639	吉川市	5,100
日高市	4,700	幸手市	5,130
幸手市	4,722	杉戸町	5,203
松伏町	4,740	日高市	5,300
狭山市	4,784	嵐山町	5,300
吉川市	4,844	小川町	5,300
八潮市	4,900	上里町	5,350
白岡市	4,918	久喜市	5,355
入間市	4,940	入間市	5,390
上里町	4,950	秩父市	5,400
志木市	4,967	毛呂山町	5,400
宮代町	4,980	本庄市	5,450
滑川町	5,000	宮代町	5,489
嵐山町	5,000	白岡市	5,491
小川町	5,000	三芳町	5,500
長瀨町	5,000	ときがわ町	5,500
北本市	5,002	飯能市	5,591
三芳町	5,050	神川町	5,600
久喜市	5,161	狭山市	5,625
本庄市	5,200	所沢市	5,634
鴻巣市	5,200	越生町	5,650
横瀬町	5,200	松伏町	5,650
ふじみ野市	5,250	志木市	5,690
川越市	5,270	東松山市	5,700
東松山市	5,300	吉見町	5,700
桶川市	5,300	皆野町	5,700
新座市	5,346	長瀨町	5,700
所沢市	5,358	行田市	5,720
越谷市	5,380	ふじみ野市	5,750
秩父市	5,400	蕨市	5,762
春日部市	5,400	鴻巣市	5,800
草加市	5,400	北本市	5,800
川島町	5,400	富士見市	5,800
富士見市	5,412	川越市	5,830
和光市	5,455	八潮市	5,830
伊奈町	5,500	蓮田市	5,850
ときがわ町	5,500	和光市	5,880
皆野町	5,500	川島町	5,900
蓮田市	5,555	草加市	5,980
飯能市	5,591	横瀬町	5,990
行田市	5,600	小鹿野町	5,990
吉見町	5,600	越谷市	6,000
神川町	5,600	美里町	6,000
上尾市	5,603	加須市	6,031
越生町	5,650	川口市	6,076
蕨市	5,697	桶川市	6,100
朝霞市	5,700	大里広域市町村圏組合	6,100
三郷市	5,780	新座市	6,139
美里町	5,800	上尾市	6,297
大里広域市町村圏組合	5,800	春日部市	6,300
川口市	5,907	三郷市	6,300
羽生市	5,940	伊奈町	6,300
小鹿野町	5,990	さいたま市	6,406
加須市	6,031	戸田市	6,450
さいたま市	6,034	羽生市	6,490
戸田市	6,400	朝霞市	6,550
東秩父村	6,923	東秩父村	6,916